

誰が主役！ 公民館活動の原点は！

Part2

俳句掲載拒否を考える市民の集い

9月27日(土)午後2時開会

市民会館おおみや小ホール・資料代500円

市民のみなさん、あの三橋公民館の俳句掲載拒否について、7月25日〈考える市民の集い〉は120名の参加で、様々なパネラー、会場発言があり、次回も更に大きな集いと確認されました。

■7月29日の“さいたま市公民館運営審議会”での各委員の発言や審議会答申の「地域に開かれた公民館のあり方」は、今後のこの問題を解決していく重要な方向であることも示されました。

■私たちは〈考える市民の集い〉Part2として9月27日(土)午後2時、市民会館おおみやで200名以上の集いを前回参加者一同で準備しました。

■この集いの主役はみなさん。大田堯さんのメッセージと安藤聡彦さん(埼玉大学教員)の報告、提案そして様々な考え、提案、感想などの集いです。

連日のメディア・マスコミ報道ですが、さいたま市の市民社会の成熟度がためされ文化的解決が求められます。

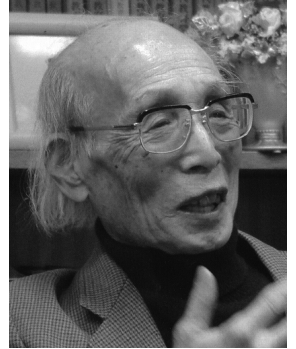
■三橋公民館だよりの俳句コーナーの再開と再掲載、9月30日の次回公民館運営審議会での答申にもとづく解決。何よりも地域センターとしての公民館利用を主人公である市民が、自由闊達な文化・地域活動、学びのひろばとして保障される文化都市さいたま市としていくにはありませんか。

■多くの方のみなさんのご参加をお願いいたします。お声かけを。

メッセージと会場発言

大田 堯さん

1918年生。教育研究者(教育史・教育哲学)。広島県出身、さいたま市在住。東京帝国大学文学部卒業。東京大学教育学部教授、学部長、日本子どもを守る会会長、教育科学研究会委員長、日本教育学会会長、都留文科大学学長、世界教育学会(WAAER)理事、北京大学客座教授などを歴任。主な著作は『かすかな光へと歩む』(一ツ橋書房)、『教育の探求』(東京大学出版会)、『教育とは何か』(岩波新書)、『大田堯自撰集成』(全4巻、藤原書店)ほか多数。



安藤 聡彦さん(埼玉大学教員)

所沢にお住まいの社会学の第一人者。教育の場としての地域、公民館、自治をどう考えるかの報告、提案に期待いたします。

また、牧太郎さん、佐藤一子さんからの資料提供もあります。

行政から (要請中)

有識者・文化人そして会場からの様々な発言をひとりでも多く

よびかけ

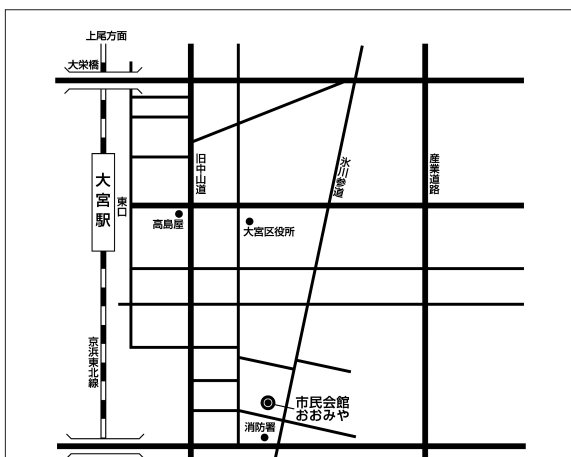
〈7月25日さいたま市公民館だよりの俳句掲載拒否を考える市民の集い〉参加者一同

連絡先 (※お声をお寄せください)

江野本 (090-3311-0713) woman@hat.hi-ho.ne.jp

武内 (090-2173-2591) chi-bi-1123-fuyo@khc.biglobe.ne.jp

山田 (090-4600-1027) chizuko0913@aol.com



市民会館おおみや・小ホール

〒330-0844 さいたま市大宮区下町 3-47-8
TEL.048-641-6131 FAX.048-641-6133